

科目名	オペラ実習Ⅲ	形態	実習	開講期	春学期
担当教員	森 雅史	単位	1	年次	4

＝授業科目の目標＝

オペラの舞台で求められる身体表現とオペラ作品に取り組む為のアプローチをひとつのオペラ作品を通して学ぶことを目標とする。歌うだけではなく、様々な側面からオペラ制作に携わる事で、協調性や舞台制作の為の知識、技術も併せて養う。

＝履修の条件と学習の方法＝

- ・ 割当てられた役の譜読みを事前しておくこと。立ち稽古前には暗譜をしておくこと。
- ・ 作品を自ら訳し、図書館を積極的に活用し、作曲家や作品の背景について事前に調べておくこと。
- ・ 辞書を使用するので、毎回の授業に持ってくること。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 作品研究、演奏箇所の確認、キャラクター研究。
- 3回 音楽稽古（その1）
- 4回 音楽稽古（その2）、シーン稽古（その1）
- 5回 音楽稽古（その3）、シーン稽古（その2）
- 6回 音楽稽古（その4）、シーン稽古（その3）
- 7回 暗譜チェック、オーディションによる役柄決定
- 8回 シーン・ワーク（その1）
- 9回 シーン・ワーク（その2）
- 10回 シーン・ワーク（その3）
- 11回 シーン・ワーク（その4）
- 12回 シーン・ワーク（その5）
- 13回 シーン・ワーク（その6）
- 14回 音楽稽古（止め通し）
- 15回 演奏会形式での発表

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業での研究姿勢と止め通しまでの個々の理解や成長の度合い、出席状況など踏まえて総合的に判断する。

＝テキスト（必携）＝

伊和中辞典。